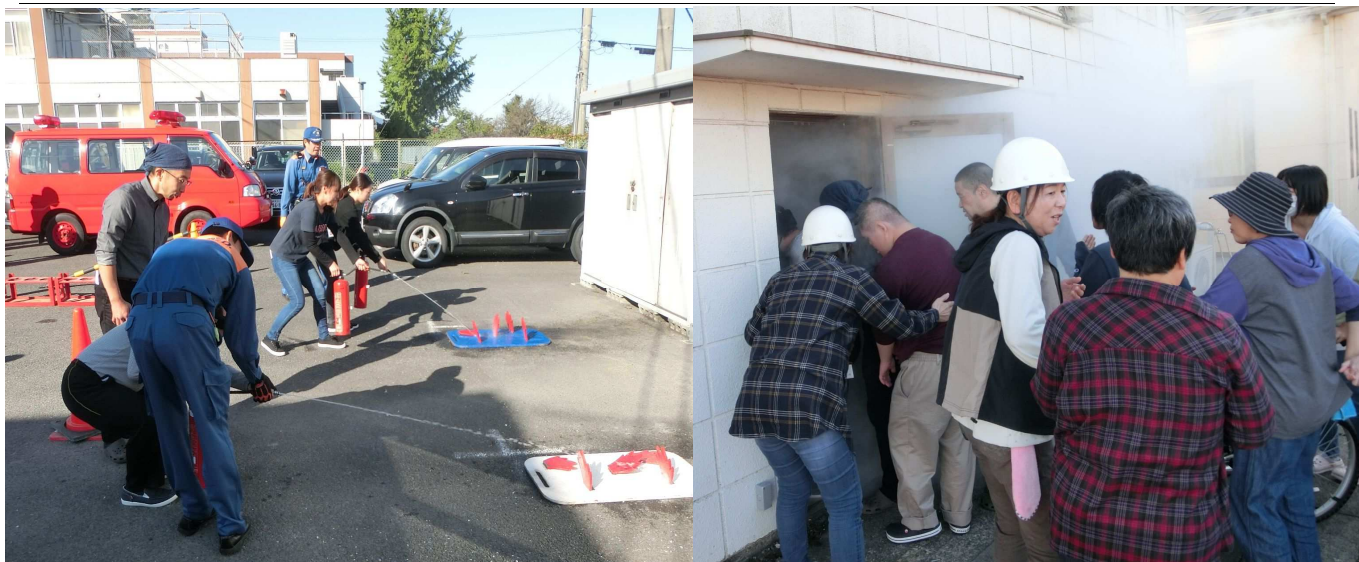




総合防災訓練 11/6(水) (左、消火訓練 右、煙道避難体験)

あゆみの家

No. 122号

重度訪問介護

あゆみの家にはホームヘルプサービス事業所の「おおぞら」があります。居宅介護等事業所「おおぞら」と呼ぶこともあります。この「等」には他に、「行動援護」、「重度訪問介護」、「通院介助」、「移動支援」などが含まれています。このうち「重度訪問介護」を利用されている人たちは十一名です。関係者以外の人たちにはほとんど知られていない名称と思います。これが多くの人たちに一瞬にして知られる出来事がありました。

二〇一九年七月二十一日に実施された参議院議員選挙で、れいわ新撰組から当選されたALS(筋萎縮性側索硬化症)患者の船後康彦氏と、幼いころの事故で重度障害者となった木村英子氏のお二人が、日常生活でこの「重度訪問介護」を利用していました。この障害福祉サービスは、重度の身体障害のある人を対象に入浴や食事、外出などを介助・支援する事業です。大きなニュースになったのは、お二人が議員活動を行うとすることにはこの「重度訪問介護」が使えないことが判明したのです。「通勤、経済活動(就労)にかかわる支援」は同事業の対象にならないことから、お二人の職場である参議院の中ではこの支援が受けられず、障がいのある人たちの自立を目指す法律の大きな矛盾点が露呈したわけです。

障がいのある人たちの社会参加や自立支援、共生社会を目指している障害者総合支援法に、まだまだ多くの改善点があることを思い知らされた出来事でした。

神は我々と共におられる

理事 (総合施設長)

田口 道治



見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。
その名は、インマヌエルと呼ばれる。
この名は、神は我々と共におられる。
という意味である。

新約聖書はマタイによる福音書から始まります。その一章、二章ではイエス・キリストの誕生について記されています。冒頭に掲げた箇所は第一章二三節からです。クリスマスは、慈（いつく）しみと恵（めぐみ）に富み給う神様が大切な独り子イエス様をこの地上に贈って下さったことをお祝いする時です。あゆみの家では四八年前の創立以来、利用者やご家族の方々、役職員、後援会など関係者の皆さまと毎年欠かさずクリスマス祝会を開いて、イエス様のご降誕をお祝いしています。

こうした全体の行事の時には、多くの人たちが集える食事の場所や駐車場の確保などで苦労してきました。しかし、昨年九月にデイセンターあゆみの家の食堂が新しくされ、今年の十二月に広い駐車場が完成したことにより、こうした行事にのびのびと参加できるようになりました。

施設の整備に関しては、新しく建て替えられた「ぐっどらんど」の利用が四月から始まり、五月にはグループホームの新しい建物「別荘ホーム」も利用できるようになったことは既にご案内させていただいた通りです。後者のグループホームについ

ては、スプリンクラー設備の未整備などで建て替えを必要とする建物がまだ残っています。さらには、高齢の女性入居者のためのバリアフリー化されたグループホーム整備が喫緊の課題となっていますが、その土地の確保に困難が伴っています。もう一つの大きなハードルは、入居される人たちを支援する生活支援員や世話人の確保です。生活場面のサポートですから平日の夜間や土曜日、日曜日には日中の支援も必要です。障がいのある人たちが地域で暮らし続けていくためのグループホームはこれからもさらに整備が必要ですが、このようにいくつかの必要な条件がなかなか揃わない現状があり、これらを克服していかなければなりません。

この他、障がいのある人たちが地域で安心して暮らし続けるためには、就労支援も含めた相談支援体制の充実、緊急時の支援体制の構築、災害被災時の迅速・適切な支援体制構築など、取り組むべき課題は山ほどあります。スタッフにできることは限られています。みなで知恵を出し合い、力を合わせて解決していければと考えています。

四八年前にわたるあゆみの家の働きを見えないところで支え続けて下さる神は、我々と共におられます。あゆみの家が神の慈しみと恵の現れるところであり続けられるよう、私たちが神とつながっていることを心にとめて歩んで参りたいと思います。



林町デイセンター十周年を迎えて

林町デイセンター サービス管理責任者 宮崎 朋子

林町デイセンターは、「重症心身障がい」と呼ばれる、重度の身体障がいと重度の知的障がいを併せ持つ方達を主な対象とする通所施設です。どんなに重い障がいがある方でも毎日通える場所があり、その人らしい人生を送れるよう、この施設は二〇〇九年四月に開所し、今年十周年という節目を迎えました。近所の散歩や、床屋外出、買い物などの活動が続けるうちに、気軽に声を掛けて下さる方や、採れたての野菜や果物を分けて下さる方など、「林町」という場所に多くの顔馴染みが増えた事を実感しています。

しかし、一方で地域で厚い壁を実感する事もあります。以前、近くのレストランに出掛けた際、利用者の食事のためにミキサーの使用許可を尋ねると、「うちの店の雰囲気壊れる」「騒音は他のお客様の迷惑となる」と拒否され、悲しく悔しい思いをした事もあり、地域の皆さんの重い障がいのある人たちへの理解はまだまだと感じました。

林町デイセンターでは、十年間の歩みを感じ、施設のことを、そして、重い障がい者がある人たちのことをもっと知っていただき、地域の中に、理解者が少しでも増えていくことを願いつつ、ふれあいフェステ



利用者さんの音楽発表

バルを開催しました。

カレーライス、焼きそばなどの模擬店、不用品バザー、ゲームコーナー、似顔絵コーナーなどに加え、ステージでは、大道芸、フォークソングそして、林町デイセンターの仲間による音楽発表等、多くの人々と楽しく交流することができました。多くのボランティア、近隣の方々、学校の子供達など、沢山の人が来てくださいました。会場は大いに盛り上がり、歌やゲームを通して障がいの有無に関わらず全員が一つになる体験をしました。

重い障がいがある方々が暮らしやすい街は、子どもからお年寄りまで住みやすい街ではないかと思えます。例えばレストランでミキサー加工の料理が出てくれば、離乳食で困る母親や、咀嚼が困難なお年寄りまで助かります。道に段差が無く車椅子が通る事ができれば、ベビーカーからシルバーカーまで気軽に外出できるはずなんです。つまり、重度の障がいがある方の暮らしやすい街をつくる事は、地域の住民全体の暮らしやすさにもつながるのです。

林町デイセンターでは、これからも地域に出かけて行って利用者さんの思いを大切に、地域の皆さんともいろいろな交流ができるような活動が続けていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いします。



お菓子まき

ヘルパーの仕事を通して感じていること

おおぞら ヘルパー 松野 陽子

「おおぞら」では、障がいのある小学生以上の方に自宅や外出での支援を行っています。居宅介護（身体介護、家事援助、通院介助）、重度訪問介護、行動援護、移動支援、ふれあいサービス、福祉有償運送のサービスを提供し、生活の中で能力を最大限に発揮できるように自立を支援しています。その中でも特に外出の支援は豊かな地域生活に欠かせないサービスとなっています。住み慣れた地域で充実した楽しい時間を過ごすために、地域の方と障がいのある人との通訳として、地域との繋がりを大切に、円滑なコミュニケーションをサポートしています。

ヘルパーの仕事の魅力としては、基本的に一対一の支援なので利用者さんの成長を間近で感じ取ることができ、ます。ライフステージを通して支援を続けることができ、お互いにわかりやすいようにアプローチの方法などを工夫していきます。それにより、以前はヘルパーと一緒に取り組んでいたことが、自信を持ってご自分で出来るようになることが徐々に増えていく姿を見て、継続することの大切さを利用者さんから学ばせていただくことも多くあります。

また、アセスメント（利用者さんの現在の状況を把握し、今後の支援について希望や要望を聞き取ること）を

丁寧に行い、利用者さんが発した言葉や行動の真意を探り、それが合っていた時の喜びを感じることがこの仕事の醍醐味でもあります。

次に、自分自身が仕事をする上で心がけていることとして、

① 一緒に楽しむ・一緒に考え、気持ちに寄り添う

活動や見学などは自分も楽しみながら一緒に取り組み、次に何をしたいかなどを聞き取り、利用者さん主体の行動を見守るようにしています。

② 否定的な言葉を使わない

頭の中で一度変換したあと、利用者さんにわかりやすく伝えるよう気をつけています。

（「走らないで下さい」↓「一緒に歩いて行きましょう」など）

利用者さんの笑顔や「ありがとう」「楽しかった」という言葉が私の原動力となっています。地域の方々との繋がりが、地域での生活・活動も大切にしながら、今後一緒に様々な経験を重ねて私自身も成長していきたいと思っています。

※昨年一〇月に岐阜県社会福祉協議会より取材を受けました。

「岐阜県福祉人材総合ポータルサイト ぎふ障がいFushih」のサイトにてご覧いただけます。

各種委員会活動の紹介

あゆみの家では、利用者へのサービス向上のため、各種委員会を開催しさまざまな課題に取り組んでいます。その活動状況を紹介します。

広報・ホームページ委員会

広報・ホームページ委員長

大原 里美

広報・ホームページ委員会はそれぞれの委員会として活動をしています。

広報委員会は年間四回発行を目指し、福祉の動向や、毎号にあわせた旬な行事や事業所報告なども記事に掲載しています。一〇号からカラー印刷に変わり、写真も見やすくなりました。

ホームページ委員会は昨年度からリニューアルし、より親しみやすい画面に生まれ変わりました。あゆみの家の事業所の概要などのページもありましたが、新しく『つぶやきブログ』のページが加わり、各事業所の活動の様子や「つぶやき」のように掲載しています。広報紙よりも更にホットな情報が皆様に届けられるようにと思っています。

このように、広報・ホームページ委員会はあゆみの家の活動を通して、利用者のかたがどのような活動をしているのか？支援に携わるスタッフ達の願い等も感じています。

また、この委員会の役割としては、もう一つあります。あゆみの家の活動を知っていただける機会を通して、障がいへの理解を深め、良き理解者となっていたり、障がいに繋がっていき、支援者として一緒に支えていただくことが委員会としても大変嬉しく思います。

権利擁護委員会

権利擁護委員長

伊藤 佐知子

虐待防止委員会と苦情解決委員会が一体となった「権利擁護委員会」として三年目を迎えました。五年回の委員会では事例検証なども行い、事業所間の連携を深めています。

虐待防止については、「合理的配慮」と「不適切かもしれない支援・判断に迷う支援」の事例収集を行っています。実際の支援を振り返り、分析することで新たな課題もみえてきました。課題解決に向けて別の事業所の良い取り組みなどを取り入れ、お互いに助言していくことで、法人として職員一人ひとりの人権意識・専門的知識・支援技術の向上を図ることが委員会としての役割でもあります。

苦情解決についての話し合いでは、苦情や要望の確認と、事故・ヒヤリハットの集計も行っています。服薬に關する事故を減らす取り組みとして、今年度は啓発ポスターを作成しました。今年度は、職員も気持ちよく利用者が安心して過ごせるあゆみの家、職員も気持ちよく働けるあゆみの家となるように今後も取り組んでいます。



2019年のあゆみの家祭はまさかの中止!?

第二あゆみの家 生活支援員 三宅 雄太

今年度もあゆみの家祭実施に向けて、四月からテーマや模擬店の内容、各種ステージの演出など利用者の方々、スタッフ一同準備を進めて参りました。しかし、台風一丸が接近し、今年最大勢力の台風であるとのことから、安全面を考慮し、あゆみの家祭を中止とさせて頂きました。今年こそ、天候に恵まれて外で開催できると信じてましたが、非常に残念です。楽しみにされていた多くの方々には、ご迷惑おかけして申し訳ありませんでした。

今回は、あゆみの家祭に向けての各事業所取り組み内容・裏話などをお話したいと思います。

まず毎年ステージに飾っている『バックの絵』ですが、各事業所の利用者様が描いた絵を、ひとつの大きな絵として完成させ掲示しています。今年は過去最大規模となる大きさに仕上がりましたが、ステージに飾る事が本当にできるのか不安もありましたが、ひとりひとりの願いや思いが空へ浮かんでいく：といったイメージで大きな気球の絵として完成致しました。

前々日の九日、台風が来るのが嘘に思えるような快晴であり、「せっかくだから飾って記念撮影をしよう!」とバックの絵を背景に記念撮影を行いました。

また、利用者の方々が主になって取り組む『利用者実行委員会』も今年はさらに力を入れて動きました。毎年、第二あゆみの家、デイセンターの利用者の方々の中から立候補で実行委員を選ばせて頂いてますが、「私たちもや

りたいです」と声を頂き、今年はぐっどらんど、林町デイセンターの利用者の方々も実行委員に加わり、当日の司会や宣伝、ゲームコーナーの担当など、幅広く役割をもって、準備に取り組めることができましたので、はいかと思えます。

このように、全事業所の利用者スタッフが一一致団結して

年々向上を図ろうと動いております。今年度、開催できなかったことは非常に悔しく残念でしたが、来年度はさらに向上心を持って取り組み、開催ができなかった分を上乗せしていきたいと考えております。年に一回のあゆみの家祭を「今年一番楽しかった!」と利用者、スタッフ共に言って頂けるそんな行事を目指していきたいと思っております。



バックの絵の前で、はい、ポーズ!

出来事ピックアップ



デイセンターあゆみの家(9/14) いきがいの創出事業 劇団ポポロによる『ばけものづかい』



きずな2006(9/8)
障がい者ふれあいコンサート(海津)



第二あゆみの家 (10/4)
夜間避難訓練



ぐっどらんど(10/16)
ホープ G1日外出 長良川鯉飼ミュージアムへ



林町デイセンター(10/3)
吉本新喜劇 日帰り旅行

行事予定

12/21(土) クリスマス祝会

最近のできごと (9/1~10/31)

- 9/3 (火) 日帰り旅行「梨狩り」東谷山フルーツパーク
(林町デイセンター)
- 9/8 (日) 障がい者ふれあいコンサート (海津) 参加
(きずな2006)
- 9/13(金) わくわくプログラム (ブドウ狩り)
(デ インターあゆみの家)
- 9/14(土) 親子行事「親子で目指すお口の健康」
(林町デイセンター)
- 9/14(土) 生きがい創出事業観劇会
「劇団ポポロ ばけものづかい」(デ インターあゆみの家)
- 9/22(日) 合原小学校運動会参加
(第二あゆみの家、きずな2006)
- 9/26(木) 障がい者合同面接会：岐阜産業会館にて
(就・生センター)
- 9/27(金) グッディグループ一日外出 (岐阜公園)
ドリームグループ一日外出 (大垣コロナヘ ポーリング)
(ぐっどらんど)
- 9/27(金) いちょうグループ一日外出
(刈谷ハイウェイオアシス) (第二あゆみの家)
- 10/1(火) 日帰り旅行 「名古屋港水族館」
(林町デイセンター)
- 10/3 (木) 日帰り旅行 「吉本新喜劇」
なんばグランド花月 (林町デイセンター)
- 10/4 (金) 夜間避難訓練 (第二あゆみの家)
- 10/8 (火) 綾里幼保園交流 (ぐっどらんど)
- 10/16(水) ホープG一日外出 長良川鶴飼ミュージアム
(ぐっどらんど)
- 10/29(火) ふじG一日外出 (敦賀 日本海さかな街)
(第二あゆみの家)

ボランティア(9/1~10/31)

延べ：12回 5人

(団体： 1回 2人・個人：11回 3人)

<ボランティア団体名、学校名> ※順不同
中部学院大学

11/20(水) 養老名鉄レストラン様から
ランチサービスを提供していただきました。
おいしい食事をありがとうございました!



編集後記

クリスマスが近くなると、町やデパートでは華やかになってきます。みんながとても楽しそうでいい時期だなあと感じます。ところで世界で最初のクリスマスは、家畜小屋の粗末な場所で、そこにいるのは家畜と、薄汚い服装をした羊飼、救い主イエス様とその父と母だけでした。華やかなではなく、きっと静かな場所だったのでしょう。私たちが本当に豊かな人生を歩むことができるようにするために、神さまが人の子としてこの地上に降りてきてくださった。それを思うときに、とても厳粛な思いにさせられます。華やかで楽しいクリスマスも大好きですが、静かにクリスマスの本当の意味も考えたいと思いました。(伊藤)

編集：社会福祉法人あゆみの家

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2066-2

Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

URL <https://ayumi-ie.com/>

E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

グループホームのご案内

●あゆみホーム

Tel 0584-82-3056

●めぐみホーム

Tel 0584-22-3712

●東神田ホーム

Tel 0584-22-2264

●別荘ホーム

Tel 0584-34-3811

●養老公園ホーム

Tel 0584-34-3170

●青柳ホーム

Tel 0584-89-6231

●綾野ホーム

Tel 0584-92-2405

●表佐ホーム

Tel 0584-23-3305

●習南ホーム

Tel 0584-22-5079

●あいかわホーム

Tel 0584-23-0822

ぐっどらんど

〒503-0984

岐阜県大垣市綾野5-47-2

／ TEL 0584-92-2799